

### 人材募集



市職員

◆技術職土木上級(経験者)若干名  
昭和58年4月2日以降に生まれ、平成30年12月31日時点で次の①か②のいずれかを満たすかた。

①土木施工管理技士1級または技術士の資格を持つかた  
②土木技術職としての実務経験が3年以上あり、土木施工管理技士2級の資格を持つかた、または技術士補の登録もしくは登録の資格を持つかた

◆保健師 1人  
昭和58年4月2日以降に生まれ、保健師の免許を持つ、または3月までに取得見込のかた

●いづれも  
試験内容 1次…事務能力検査など、2次…個人面接

申込期間 1月15日(火)～22日(火)午前8時45分～午後5時15分(土・日を除く)  
※郵送の場合は1月21日(月)消印有効

試験日 1次…1月27日(日)、2次…2月10日(日)

採用時期 4月1日

申込書配付・申込・問合せ先 人事課 ☎072-433-724

アルバイト登録  
市のアルバイト(学校)を希望するかたは登録してください。  
対象 資格または司書教諭の資格があるかた  
登録・問合せ先 教育研究センター ☎072-4502450

### 健康



対象者はお早めに!

## 期間は3月末まで 高齢者肺炎球菌予防接種

申請・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

対象者には、「貝塚市高齢者肺炎球菌ワクチン接種対象者通知書」を昨年5月末に郵送しています。接種期間は3月31日までです。まだのかたは早めに接種しましょう。

なお、紛失や5月末以降転入したなどで通知書がないかたは、健康推進課へお問合せください。

対象 接種日に市に住民登録があり、高齢者肺炎球菌ワクチンを一度も接種(自費を含む)していないかたで、次の①または②に該当する場合

①	昭和28年4月2日～29年4月1日生まれ
	昭和23年4月2日～24年4月1日生まれ
	昭和18年4月2日～19年4月1日生まれ
	昭和13年4月2日～14年4月1日生まれ
	昭和8年4月2日～9年4月1日生まれ
	昭和3年4月2日～4年4月1日生まれ
	大正12年4月2日～13年4月1日生まれ
	大正7年4月2日～8年4月1日生まれ



②接種日に60歳以上65歳未満で、心臓・じん臓・呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害があるかた

## 赤ちゃんからできる スキンケア・アレルギー講座

申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

個別相談あります。500ミリリットルのペットボトル空容器をお持ちください。

日時 1月31日(木)午前10時～11時30分  
場所 保健・福祉合同庁舎3階大会議室  
対象 1歳未満の乳児と保護者(保護者のみの参加可)  
講師 竹村豊さん(近畿大学医学部小児科学教室医師)  
定員 15組(定員になり次第締切)  
参加費 無料



カラダの中も外もきれいになろう!

## びかつ スラツと美活教室受講者募集!

健康推進課では女性の健康づくりを応援しています。日頃育児や仕事などで忙しいあなた!「食事と運動でカラダの中も外もきれいになろう」をキーワードに、一緒に美活をはじめましょう。

参加者みんなで楽しく学べる内容になっています。1回目は調理実習があり、昼食付きです。ご参加お待ちしております。

場所 保健・福祉合同庁舎3階 対象 30～50歳代の女性市民のかた  
費用 500円(2回分) 定員 10人(要申込・保育要相談)  
申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7000

★2回シリーズです

日時	内容
2月7日(木) 午前9時30分～午後1時30分	栄養講義・調理実習「美活クッキング」 健康推進課 管理栄養士
2月19日(火) 午前9時30分～11時30分	運動実習「美ボディへの道」 健康運動指導士 高橋智子さん

### 休日急患診療所

日時 日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)午前10時～正午、午後1時～4時  
場所 保健・福祉合同庁舎内  
診療科目 内科・歯科  
問合せ先 ☎072-432-1453  
(診療日の受付時間内のみ連絡可)

### 小児の休日診療は泉州北部小児初期救急広域センターへ

日時 日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)午前9時～正午、午後1時～4時、午後5時～10時  
場所 岸和田メディカルセンター内(岸和田市荒木町1-1-51)  
対象 中学生以下  
問合せ先 ☎072-443-5940

## ほっ スピタル・かいづか

問合せ先 貝塚病院 ☎072-422-5865

(36)より安全・安心な医療を目指して

近年、医療機関における医療事故の発生が各方面で大きく取り上げられています。

当院では、理念として「地域住民を守る良質な医療の提供」を掲げ、全職員が一丸となり日々努力を重ねています。

医療安全管理室は医療事故をなくすため、病院全体での取り組みの中心的役割を担っており、組織横断的に院内各部署・各職種と連携して医療に関する安全性の向上に努めています。医療安全を確保するためには、たとえそれが小さな事故であっても、病院全体の問題として捉え、「人は誤りを犯す」ことを前提に、組織的な対策を講じる必要があります。

インシデント事例(実際に被害を及ぼすことはなかったが、「ヒヤリ」「ハッ」とした事例)およびアクシデント事例(医療事故)の分析・評価・マニュアルの作成など、医療安全管理の強化充実が医療安全管理室の使命と考えています。

医療安全管理室長 林 巧

## 受けよう!大腸がん検診

貝塚市医師会 ☎072-423-4130

日本人の2人に1人が、がんで亡くなる時代です。ドロボウに入られる確率より、がんにかかる確率の方が圧倒的に高いにも拘らず、全ての人が用心のため家の鍵を掛けるのに対し、積極的にがん検診を受ける人が少ないのは不思議な話です。

本庶博士のノーベル賞によりがんの免疫療法の道が開かれたのは朗報ですが、早期発見早期治療に勝るものはありません。

それには、何と云ってもがん検診です。中でも特に有用なのは大腸がん検診です。大腸がん検診では、少数のがんと共に高率に大腸ポリープが見つかります。大腸ポリープ自体

は腺腫という良性腫瘍ですが、大腸がんはポリープから発生するため、いわばがんの芽でもあります。そのため大腸ポリープは見つかれば、即切除してくれます。「鉄は熱いうちに打て、がんは芽のうちに摘め」という訳です。中には切除したポリープの一部に既にがん化した部分の見られるかたもいますが、結果オーライです。

さあ、みんなで積極的に大腸がん検診を受けることにより、貝塚市から大腸がんで亡くなる人を一人でも減らそうではありませんか。